



## 株主通信

神奈川中央交通株式会社  
第145期 報告書

2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日



取締役会長 三澤 憲一 取締役社長 堀 康紀

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第145期報告書（2018年4月1日から2019年3月31日まで）をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

### 神奈中グループ経営理念

お客様の「かけがえない時間(とき)」と「ゆたかな暮らし」の実現に貢献します。

### 経営方針

- お客様の視点に立ち、期待に応える価値を提供します。
- 地域の明日を考え、みなさまとともに歩みます。
- 従業員が働くよろこびを実感できる、活気ある企業を目指します。

### 行動指針

お客様のために、私たちは

- 一人ひとりが会社の顔としての自覚をもち、今日の仕事をやり遂げます。
- 相手のことを理解し、協力して互いにとって「よりよい答え」を見つけます。
- 何事にも信念をもって取り組み、積極的に挑戦します。

当期におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に設備投資が増加し、個人消費は雇用情勢の着実な改善を背景に持ち直しの動きがみられるなど緩やかな回復傾向が続きました。一方で、米中を中心とした通商問題の動向や英国のEU離脱問題の影響など海外経済の不確実性や金融資本市場の変動への懸念により、先行き不透明な状況で推移しています。

このような状況のもと、当社グループ各社は、各部門において積極的な営業施策を図った結果、当期における売上高は114,809百万円（前期比0.9%増）、営業利益は6,606百万円（前期比1.9%増）、経常利益は6,789百万円（前期比4.8%増）となりましたが、秦野営業所の建替に伴う固定資産除却損を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益は4,089百万円（前期比3.5%減）となりました。

当期の期末配当金につきましては、将来への事業投資や経営環境の変化に備え、経営基盤強化に必要な内部留保を充実させるとともに、連結配当性向や連結株主資本配当率等の指標を総合的に勘案し、1株につき22円50銭（通期では40円、前期と比べ5円\*の増配）といたしましたので、あわせてご報告申し上げます。

当社グループを取り巻く事業環境は、本格的な少子高齢社会を迎え、国内マーケットの縮小が見込まれる中、AIやIoT等のテクノロジーは急速に進展するなど、経験したことのないスピードで社会が変化しています。また、訪日外国人の更なる増加が見込まれていることや、東京オリンピック・パラリンピックに向けて、社会インフラの整備が急ピッチで進められています。

昨年基準計画として策定いたしました「神奈中グループ

中期経営計画（2018年度～2020年度）」では、当社創立100周年（2021年）に向けて、事業基盤を強化すべく、成長の種を蒔き育てることを実施してまいります。

また、事業環境の変化が著しい今日において、次の100年に向けて更なる成長を遂げるために、「時代の変化に柔軟に対応し、新たな価値の創造に挑戦し続ける」を掲げ、競争環境や業界構造の変化をもたらしているAIやIoT等の先端技術を積極的に取り込み、新たなサービスの提供や生産性の向上に取り組んでまいります。

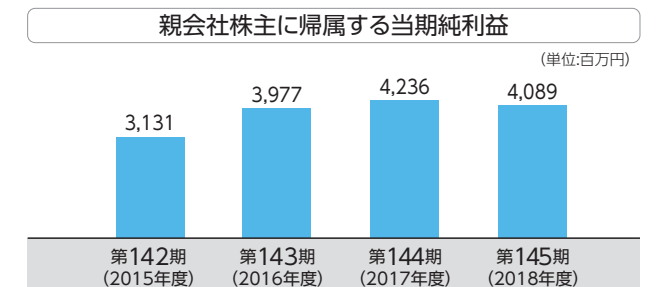
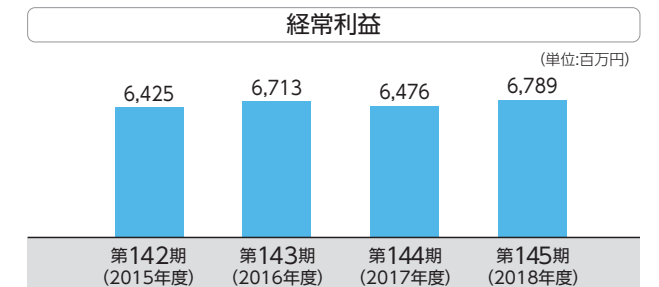
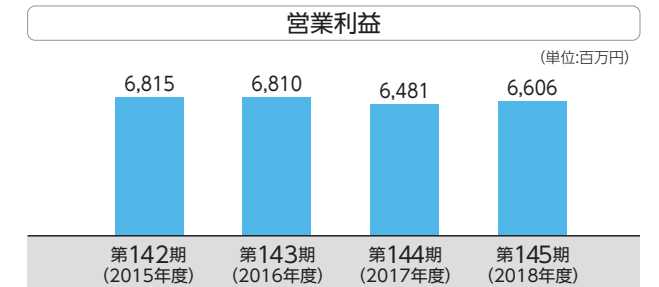
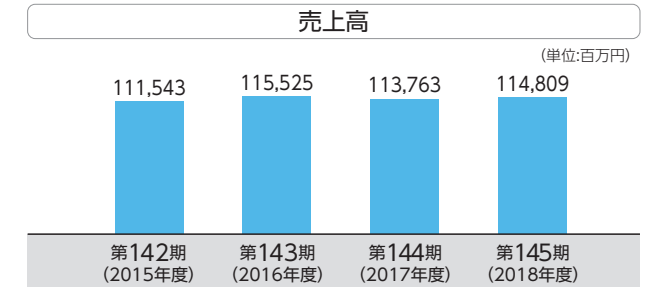
なお、当社グループでは、経営理念の実現と持続的な企業価値の向上を図るため、将来への事業投資や財務の健全性の維持に努めるとともに、業績の動向を踏まえた安定的な配当を実施し株主還元の実現を図ることを資本政策の基本的な方針としております。

今後も「神奈中グループ中期経営計画（2018年度～2020年度）」の施策を推進し、経営基盤を一層強化し収益力の向上を図るとともに、リスクマネジメント体制の充実を図ることなどにより企業の社会的責任を果たすことで、社会から信頼される企業グループを確立し、神奈中グループ経営理念である「お客様の『かけがえない時間(とき)』と『ゆたかな暮らし』の実現」を目指してまいります。株主の皆さまには、引き続きより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

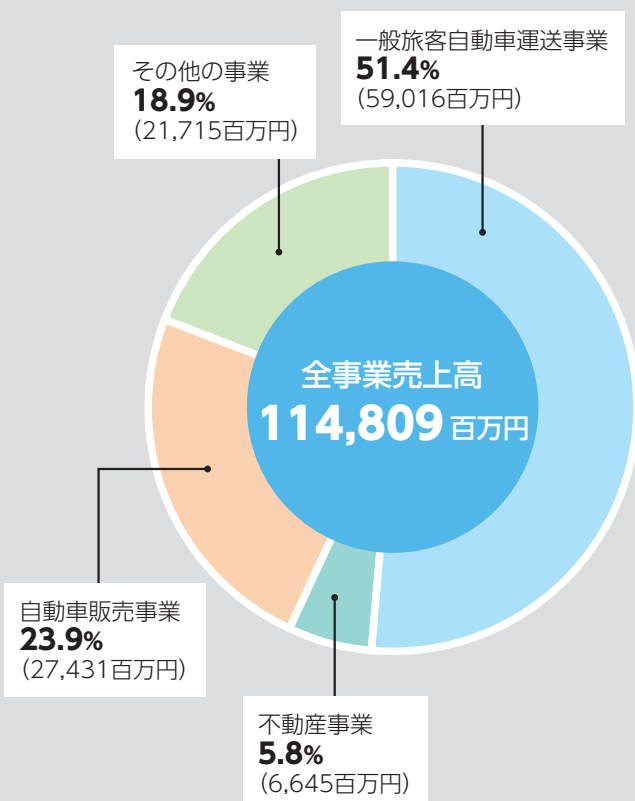
2019年6月

\*2017年10月1日付で実施の株式会社併合（普通株式5株につき1株の割合）を考慮した金額

### 財務ハイライト(連結)



セグメント別売上高構成比



※売上高構成比は外部顧客に対する売上高に基づき算出しております。

一般旅客自動車運送事業

- 当社
- (株) 神奈中タクシーホールディングス※
- 相模中央交通(株)※
- 神奈中ハイヤー(株)※
- 神奈中観光(株)ほか



2019年2月に運行を開始した「湘南台駅東口～石川中村～湘南ライフタウン線」

不動産事業

- 当社
- 相模中央交通(株)
- 神中興業(株)



茅ヶ崎市室田新築分譲住宅

自動車販売事業

- 神奈川三菱ふそう自動車販売(株)
- 神奈中相模ヤナセ(株)



2018年8月にマイナーチェンジした小型トラック「キャンター」

その他の事業

- 当社
- (株) 神奈中商事
- (株) 神奈中スポーツデザイン
- (株) 神奈中システムプラン
- (株) グランドホテル神奈中ほか



中伊豆グリーンクラブ10番ホール

※2019年7月1日付で乗用業におけるグループ会社の再編を行う予定です。

一般旅客自動車運送事業

乗合業においては、2018年3月のイオンモール座間開業に伴い、小田急相模原駅および南林間駅からの直行便を運行開始したことなどにより増収となりました。また、お客さまがスムーズに乗降しやすいノンステップバスを148両導入するとともに、5月に辻堂駅北口～湘南ライフタウンおよび慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス間の2系統の路線において連節バス「ツインライナー」による急行運転を開始したほか、9月には空港リムジンバス「田村車庫・本厚木駅～羽田空港線」において東名大和バス停への乗り入れを開始しました。さらに、2019年2月に湘南ライフタウンより藤沢市の交通空白地域である石川地区への運行を開始するとともに、3月には神奈川中央交通西(株)にて東武バスウエスト(株)と共同で藤沢・辻堂・本厚木～川越方面への都市間高速バス路線の運行を開始するなど、さらなる輸送の効率化および利便性の向上を図りました。

貸切業においては、神奈中観光(株)にて、車両の代替に合わせバリアフリーに対応した車椅子リフト付車両を増車し利便性向上を図りました。また、積極的な営業活動に努めたことで旅行エージェントからの受注が増加したことなどにより稼働率が向上し増収となりました。

乗用業においては、高齢の方や車椅子ご利用の方など、さまざまなお客さまが利用しやすいユニバーサルデザインの次世代型タクシー「JPN TAXI(ジャパントクシー)」の導入を推進し利便性向上を図ったほか、送迎に加えマタニティや付き添いが必要な方などお客さまのニーズに合わせたサービスを提供する「さぼーとタクシー」の利用が順調に推移しました。また、2017年8月より導入したスマートフォンアプリや音声自動受付(IVR)による無線配車サービスの利用者数が増加したものの、乗務員不足による稼働減が影響し減収となりました。

以上の結果、一般旅客自動車運送事業全体の売上高は59,249百万円(前期比0.4%減)、営業利益は2,838百万円(前期比5.6%増)となりました。



2018年5月に急行運転を開始した「辻堂駅北口～急行・駒寄～湘南ライフタウン線」



2019年3月に運行を開始した「圏央ライナー川越湘南線」



バリアフリーに対応した車椅子リフト付貸切車両

## 不動産事業

分譲業においては、伊勢原市桜台にて小田急不動産(株)およびセコムホームライフ(株)とのマンション共同事業「リーフィアレジデンス伊勢原」の販売を前期に引き続き行くとともに、藤沢市羽鳥にて大和ハウス工業(株)および(株)長谷工コーポレーションとのマンション共同事業「プレミスト湘南辻堂」の販売を進めました。また、横浜市磯子区洋光台にて5月より開始した戸建分譲を完売するとともに、2019年1月より茅ヶ崎市室田および横浜市旭区さちが丘にて戸建分譲を開始したことなどにより増収となりました。

賃貸業においては、前期に新規テナントが入居した「厚木第一ビル」および「相模大野ビル」の賃貸収入が通期寄与したことに加え、9月より「港南中央ビル」に新規テナントが入居したほか、2019年1月より新たに「平塚市浅間町貸店舗」の賃貸を開始したことなどにより増収となりました。

以上の結果、不動産事業全体の売上高は6,671百万円(前期比12.6%増)、営業利益は2,427百万円(前期比8.6%増)となりました。



大和ハウス工業(株)および(株)長谷工コーポレーションとの大規模マンション共同事業「プレミスト湘南辻堂」



2019年1月より賃貸を開始した「平塚市浅間町貸店舗」

## 自動車販売事業

自動車販売事業においては、神奈中相模ヤナセ(株)にて、6月にフルモデルチェンジしたメルセデス・ベンツ「Gクラス」や「CLSクラス」および12月にフルモデルチェンジした「Aクラス」などの新車に加え、中古車の販売が順調に推移しました。また、神奈川三菱ふそう自動車販売(株)にて、8月にマイナーチェンジした小型トラック「キャンター」の販売が順調に推移するとともに、整備部門において積極的な営業活動により受注が増加したものの、大型バス代替需要の減少により減収となりました。

以上の結果、自動車販売事業全体の売上高は30,985百万円(前期比0.9%増)となりましたが、販促活動の強化に伴う宣伝広告費の増加などにより、営業利益は297百万円(前期比8.1%減)となりました。



2018年6月にフルモデルチェンジしたメルセデス・ベンツ「CLSクラス」

## その他の事業

流通業においては、(株)神奈中商事にて、バスICカードシステム機器の代替受注により部品販売が増加したことに加え、原油高の影響に伴い燃料の販売単価が上昇したことなどにより増収となりました。

ビル管理業においては、横浜ビルシステム(株)にて、大型商業施設の清掃管理業務や公共施設の設備管理業務を新規受注したことに加え、前期に受注したオフィスビルの設備管理業務が通期寄与したことなどにより増収となりました。また、(株)アドベルにて、前期に受注したリゾートホテルに付帯するスパ施設の清掃業務が通期寄与したことなどにより増収となりました。

商用車架装業においては、カプラ架装におけるオプション受注の増加などにより販売単価が増加したものの、競合他社との競争激化によりトラックメーカーへの部品販売が減少したことなどにより減収となりました。

レジャー・スポーツ業においては、(株)神奈中スポーツデザインにて、フィットネス部門やゴルフ場部門において積極的な営業活動により売上が増加しましたが、スイミング部門における新規会員数の減少などにより減収となりました。

飲食・娯楽業においては、4月に「ドトールコーヒーショップ相模原駅前店」をリニューアルし、顧客満足度の向上に努めました。また、9月には「らーめん花樂四之宮店」を業態変更し、新ブランドの「北海道らーめん麺処うたり平塚四之宮店」としてオープンし順調に推移したものの、TSUTAYA店舗における売上不振や閉店などにより減収となりました。

ホテル業においては、旅行エージェントへ積極的な営業活動を行い宿泊客が増加したものの、宴会部門の組数減や料飲部門におけるピザ店のデリバリーの売上が減少したことなどにより減収となりました。

以上の結果、その他の事業全体の売上高は31,183百万円(前期比2.9%増)となりましたが、各社におけるアルバイト・パート人件費の増加などにより、営業利益は1,284百万円(前期比14.3%減)となりました。



2019年2月に竣工した神中興業(株)本社工場



2018年4月にリニューアルした「ドトールコーヒーショップ相模原駅前店」



「フィットネスクラブ ライフティック平塚」マシントレーニングルーム

連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	期別	当連結会計年度	前連結会計年度
		2019年3月31日現在	2018年3月31日現在 ※
<b>1 資産の部</b>			
流動資産		22,256	21,744
固定資産		130,920	127,789
有形固定資産		107,113	105,265
無形固定資産		1,189	1,175
投資その他の資産		22,616	21,348
資産合計		153,176	149,533
<b>2 負債の部</b>			
流動負債		47,952	42,042
固定負債		45,159	51,724
負債合計		93,112	93,767
<b>3 純資産の部</b>			
株主資本		49,594	46,165
その他の包括利益累計額		6,035	5,365
非支配株主持分		4,433	4,236
純資産合計		60,064	55,766
負債純資産合計		153,176	149,533

連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	期別	当連結会計年度	前連結会計年度
		2018年4月1日から 2019年3月31日まで	2017年4月1日から 2018年3月31日まで
売上高		114,809	113,763
売上原価		93,257	92,369
売上総利益		21,551	21,394
販売費及び一般管理費		14,944	14,913
営業利益		6,606	6,481
営業外収益		596	492
営業外費用		412	496
経常利益		6,789	6,476
特別利益		195	807
特別損失		631	742
税金等調整前 当期純利益		6,354	6,542
法人税、住民税 及び事業税		2,051	1,997
法人税等調整額		△1	83
当期純利益		4,304	4,461
非支配株主に帰属する 当期純利益		214	225
親会社株主に帰属する 当期純利益		4,089	4,236

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	期別	当連結会計年度	前連結会計年度
		2018年4月1日から 2019年3月31日まで	2017年4月1日から 2018年3月31日まで
<b>4 営業活動による キャッシュ・フロー</b>		10,375	9,970
<b>5 投資活動による キャッシュ・フロー</b>		△4,937	△5,979
<b>6 財務活動による キャッシュ・フロー</b>		△5,110	△3,813
現金及び現金同等物の 増減額		327	177
現金及び現金同等物の 期首残高		2,468	2,290
現金及び現金同等物の 期末残高		2,795	2,468

**1 資産の部**

流動資産は、自動車販売事業における受取手形及び売掛金の増加などにより、前期末に比べて512百万円増加し、22,256百万円となりました。  
また、固定資産は、乗合車両やバスICカードシステム機器の代替などにより、前期末に比べて3,130百万円増加し、130,920百万円となりました。  
この結果、当期末の総資産は、前期末に比べて3,642百万円増加し、153,176百万円となりました。

**2 負債の部**

負債は、借入金の返済が進んだことなどにより、前期末に比べて654百万円減少し、93,112百万円となりました。なお、借入金及び社債残高は、前期末に比べて3,500百万円減少し、46,979百万円となりました。

**3 純資産の部**

純資産は、利益剰余金が増加したことなどにより、前期末に比べて4,297百万円増加し、60,064百万円となりました。

**4 営業活動によるキャッシュ・フロー**

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益6,354百万円に、減価償却費6,379百万円などを加減した結果、10,375百万円の資金収入となりました。

**5 投資活動によるキャッシュ・フロー**

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出5,058百万円などにより、4,937百万円の資金支出となりました。

**6 財務活動によるキャッシュ・フロー**

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出7,381百万円などにより、5,110百万円の資金支出となりました。

連結株主資本等変動計算書の要旨

2018年4月1日から2019年3月31日まで

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	3,160	693	43,022	△710	46,165	5,288	40	36	5,365	4,236	55,766
当期変動額											
剰余金の配当			△430		△430						△430
親会社株主に帰属する 当期純利益			4,089		4,089						4,089
自己株式の取得				△226	△226						△226
非支配株主との取引に係る 親会社の持分変動		△4			△4						△4
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—	747	△25	△51	670	197	868
当期変動額合計	—	△4	3,659	△226	3,428	747	△25	△51	670	197	4,297
当期末残高	3,160	689	46,682	△936	49,594	6,035	15	△15	6,035	4,433	60,064

※「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しています。  
なお、前連結会計年度の連結貸借対照表については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっています。

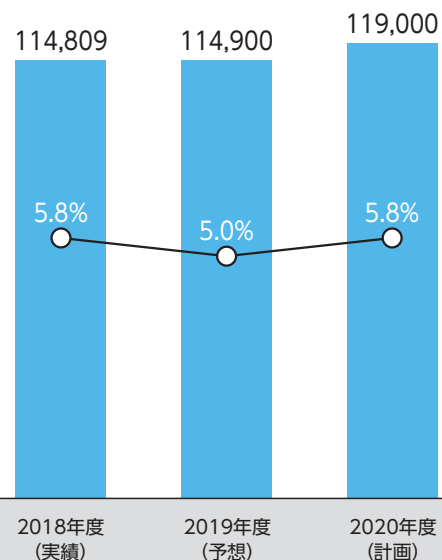
当社では、2018年4月に「神奈中グループ中期経営計画(2018年度～2020年度)」を策定し、当社グループの創立100周年(2021年)に向けて更なる成長を目指すため、売上高、EBITDAおよび売上高営業利益率を目標とする経営指標を掲げております。

今後も事業基盤の強化と次の100年に向けて更なる成長を遂げるため、引き続き各施策を推進してまいります。

経営指標	目標値
目標年度	2021年度(創立100周年)
売上高	1,200億円
EBITDA	160億円
売上高営業利益率	6.0%以上

売上高／売上高営業利益率

(単位:百万円)



EBITDA

(単位:百万円)



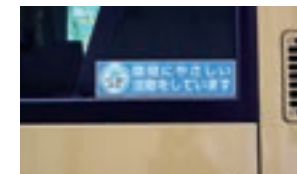
※神奈中グループ中期経営計画(2018年度～2020年度)は以下のURLからご覧いただけます。  
[http://www.kanachu.co.jp/kanachu/ir/library/pdf/kaiji/kaiji\\_20180426.pdf](http://www.kanachu.co.jp/kanachu/ir/library/pdf/kaiji/kaiji_20180426.pdf)

**E** 環境  
Environment

当社グループでは、環境保全に関する事業、施策を行うとともに、環境負荷低減に貢献する取り組みを行っています。

●「グリーン経営認証」登録

当社、神奈川中央交通東(株)、神奈川中央交通西(株)、神奈中観光(株)は、「グリーン経営認証」事業者として登録されています。「グリーン経営認証」は、環境保全を目的とした取り組みを行っている運輸事業者に対する認証制度です。認証機関である交通エコロジー・モビリティ財団の定期的な審査を受け、企業として継続した環境保全への取り組みが求められるものです。神奈中グループは、環境にやさしい企業をめざし取り組んでいます。



「グリーン経営認証」事業者ステッカー(バス)



アイドリングストップについてのご案内(バス車内)

●バスのCO<sub>2</sub>排出量低減

「燃料消費量削減運動」の実施や「アイドリングストップ強化月間」の設定など、環境にやさしい運転操作や待機中のアイドリングストップに取り組み、CO<sub>2</sub>排出量の低減に努めています。

●カーボンオフセット

当社グループの乗合業各社では、企業等法人向けにカーボンオフセット付定期券「グリーンエコパス」を2009年3月より発売しております。

発売開始以降、累計2,500トン以上のカーボンオフセットを行い、地球温暖化防止に貢献しています。



カーボンオフセット証明書(2018年)

[事業としての取り組み]

●太陽光発電

2015年に岩手県内の社有地2ヶ所にメガソーラーを設置し、環境にやさしい太陽光発電を行っています。



神奈中岩手県金ヶ崎第2太陽光発電所

●資源リサイクル

(株)アドベルでは、カン・ビン・ペットボトル等のリサイクル事業を展開しています。廃棄物の再資源化が環境保全につながっています。



平塚新町リサイクルセンター

Social

当社グループでは、公共交通機関として安心安全な輸送サービスを提供するとともに、地域社会の発展に貢献するためにさまざまな取り組みを行っています。

●非常事態への備え

当社、神奈川中央交通東(株)、神奈川中央交通西(株)では、「バスジャック統一対応マニュアル」を定め、お客さまの安全確保のための対応方法について、全乗務員に周知しています。また、警察、消防等関係機関と連携し、バスジャック事件を想定した「テロ対策訓練」などを実施し、有事に備えています。



テロ対策訓練

●交通安全への取り組み

当社グループの乗合業各社では、お客さまの安全とともに、交通事業者としての地域貢献として、交通安全の啓蒙や交通バリアフリーの推進に努めています。取り組みの1つとして、警察や自治体など関係各機関と協力し、お子さまや高齢者の方を対象とする交通安全教室を開催しています。



小学生向けの交通安全教室

●湘南ベルマーレ サッカースクール開催

当社は、湘南ベルマーレのオフィシャルクラブパートナーとなり、青少年の育成および地域活性化などを目的に、小学生などを対象としたサッカースクールを年4回開催し、地域振興に貢献しています。



湘南ベルマーレ サッカースクール

Governance

当社は、コーポレート・ガバナンスの充実に努めることで、株主の皆さまやお客さま、従業員、地域社会等、様々なステークホルダーに対する責務を踏まえ、透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定を行い、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図っています。

- 2019年4月1日付で執行役員制度を導入いたしました。執行権限および執行責任の明確化を図り、経営の機動性を高めることを目的としています。
- 2019年6月27日開催の第145回定時株主総会において、山石昌孝取締役および金子裕子取締役の2名が独立社外取締役として選任されました。取締役会が、より多様な視点、多様な経験を持った取締役で構成されることにより、取締役会の実効性を高めています。

TOPICS I

多摩ニュータウンにて自動運転バスの実証実験を実施しました



「日野ポンチョ」をベースとした自動運転車両

車両は、小型バス「日野ポンチョ」をベースとした自動運転車両を用い、GPSや道路上に埋め込んだ磁気マーカを使用して車両の位置を把握し、レーザー光で物体をとらえるLiDARやカメラで周辺の車や歩行者等を認識しながらアクセルやブレーキ、ハンドルを自動で制御し運行しました。また、車内外の状況を車両に搭載されたシステムを用い、営業所から安全対策のための遠隔監視も行いました。

今後も、当社は本実証実験の結果等を踏まえて、自動運転バスの実用化を目指し、社会課題の解決に積極的に取り組んでまいります。

2019年2月13日から2月22日まで、当社とソフトバンク(株)の子会社であるSBドライブ(株)は、東京都多摩市の多摩ニュータウンにて自動運転バスの実証実験を行いました。

本実証実験は、多摩ニュータウン内において交通結節点から起伏に富んだ団地内を経由し、商業施設を結ぶ経路(約1.4km)で自動運転バスを運行し、自動運転の受容性や地域内移動手段の可能性に関する調査を行うとともに、AI技術を活用した車内の安全対策や車内設置のディスプレイによる情報発信についての検証も行いました。

なお、本実証実験は、東京都が自動運転技術の実用化を一層加速するために2018年度より開始した支援事業「自動運転技術を活用したビジネスモデル構築に関するプロジェクト」に選定され、国と東京都が共同で設置した「東京自動走行ワンストップセンター」の支援を受けて実施したものです。



自動運転中の様子



「豊ヶ丘四丁目」バス停前



「図書館」バス停に停車時の様子

TOPICS 2

高速バス『圏央ライナー川越湘南線』の運行を開始しました

2019年3月16日より、神奈川中央交通西(株)では「藤沢駅」「辻堂駅」「本厚木駅」と「川越駅」「本川越駅」を結ぶ高速バス路線『圏央ライナー川越湘南線』の運行を、東武バスウエスト(株)と共同で開始しました。

この路線は、圏央道を経由することにより、神奈川県と埼玉県の間をダイレクトに乗り換えなしで座っていただける快適なアクセスとしてお客様からご好評いただいています。

蔵造りの町並みや時の鐘など江戸時代の面影を随所に残し、年間約700万人の観光客が訪れる小江戸・川越地区へお出かけの際はぜひご利用ください。



小江戸川越 蔵造りの町並み



2019年3月に運行を開始した「圏央ライナー川越湘南線」(辻堂駅北口)



事前にご予約のうえご利用ください。詳細はホームページをご覧ください。

お問い合わせ・お電話でのご予約  
 神奈中高速バス予約センター  
 TEL 0463-21-1212  
 (受付時間 9:00~19:00)

株主優待乗車券・株主優待乗車証

株主優待乗車券(回数券式)および株主優待乗車証(定期券式)は、毎年3月31日および9月30日最終の株主名簿に記載された100株以上保有の株主の皆さまに対して、その保有株式数に応じて発行いたします。(それぞれ有効期間6ヶ月間、5月下旬および11月下旬発送。)

なお、株主優待乗車証は持参人御一名様にご利用になります。

株主優待乗車券および株主優待乗車証発行基準

保有株式数	種別および発行枚数(6ヶ月につき)	
	株主優待乗車券(回数券式)	株主優待乗車証(定期券式)
100株以上 200株未満	5枚	—
200株以上 400株未満	10枚	—
400株以上 600株未満	15枚	—
600株以上 800株未満	20枚	—
800株以上 1,000株未満	25枚	3年以上継続して600株以上保有の場合、左の枚数に5枚追加(※2)
1,000株以上 1,400株未満	30枚	—
1,400株以上 2,000株未満	35枚	—
2,000株以上 3,000株未満	40枚	—
3,000株以上 4,000株未満	50枚	—
4,000株以上 5,000株未満	70枚	—
5,000株以上 8,000株未満	100枚(※1)	3年以上継続して2,000株以上保有の場合、左の枚数に10枚追加(※2)
8,000株以上 20,000株未満	50枚	—
20,000株以上 100,000株未満	50枚	—
100,000株以上 200,000株未満	50枚	—
200,000株以上	50枚	—

※1 5,000株以上8,000株未満保有の株主さまにつきましては、株主優待乗車券または株主優待乗車証のいずれかの選択となります。

※2 株主優待乗車券の追加発行の対象となるのは、過去3年間全ての基準日において規定株数以上を継続して保有し、株主番号が継続して同一の株主さまです。

グループ会社割引券等

当社のグループ会社の割引券等は、毎年3月31日最終の株主名簿に記載された100株以上保有の株主の皆さまに対して発行いたします。(有効期間1年間、5月下旬発送。)

- (株)神奈中スポーツデザイン 神奈中スイミング (平塚校・小田原校・秦野校)
- (株)神奈中スポーツデザイン フィットネスクラブライフティック (平塚店・秦野店)
- (株)神奈中スポーツデザイン 神奈中スポーツコンボBB茅ヶ崎 (biima sports教室は対象外です。)
- (株)神奈中スポーツデザイン 神奈中インドアテニススクール (平塚校・小田原校・藤沢校・伊勢原校(アウトドア))
- (株)神奈中スポーツデザイン 神奈中インドアゴルフスクール (平塚校・小田原校・藤沢校)

共通施設体験券2枚および入会初回月会費100%OFF券2枚  
 ●スイミング、フィットネス、インドアテニス、ゴルフでご利用になります。  
 ●入会初回月会費100%OFF券は、3ヶ月以上の在籍が必要となります。

- (株)神奈中スポーツデザイン 神奈中平塚ボウル 1ゲーム無料券 10枚
- (株)神奈中スポーツデザイン 野天湯元・湯快爽快 (たや店・くりひら店) 入浴(入館)料100円割引券 10枚
- (株)神奈中スポーツデザイン 中伊豆グリーンクラブ プレー代等の総額から1,000円割引券 6枚
- (株)グランドホテル神奈中 平塚・秦野 宿泊、飲食の10%割引券 6枚
- (株)神奈中システムプラン 直営店での10%割引券 10枚

【直営店】  
 らーめん花樂(全12店)  
 ドトールコーヒーショップ(相模原駅前店・秦野北口店・大和鶴間イトーヨーカドー店・上野浅草通り店・上野中央通り店・立場イトーヨーカドー店・東日本橋店・海老名ビナウォーフ店・みなとみらいグランモール公園店・イオン茅ヶ崎中央店)  
 サーティワンアイスクリーム(平塚ロードサイド店・OSC湘南シティ店・立場イトーヨーカドー店・ららぽーと湘南平塚店)  
 ミスタードーナツ(橋本駅前ショップ・上溝ショップ・アリオ橋本ショップ)  
 はなまるうどん(横浜港南中央店・イトーヨーカドー立場店・ミスターマックス湘南藤沢店)  
 ラケル(イーアス高尾店・横浜ノースポートモール店)  
 うまげな(ららぽーと湘南平塚店)  
 やきとり家すみれ(溝の口店)  
 北海道らーめん麴処うたり(平塚四之宮店)

ご注意 ●(株)神奈中システムプランの割引券は上記直営店のみでご利用になります。  
 ●ご利用可能店舗および施設は2019年6月27日現在のものです。



## ● 会社の概況

### 会社概要

(2019年3月31日現在)

商号 神奈川中央交通株式会社  
 本社 〒254-0811 神奈川県平塚市八重咲町6番18号  
 設立 1921年6月5日  
 資本金 31億6,000万円  
 従業員数 2,461名  
 事業内容 一般旅客自動車運送事業、不動産事業、  
 ホテル業、飲食・娯楽業

### 役員

(2019年6月27日現在)

代表取締役会長 会長執行役員	三澤 憲一	取締役	山石 昌孝
代表取締役社長 社長執行役員	堀 康紀	取締役	金子 裕子
取締役 専務執行役員	石井 豊	常勤監査役	石川 建作
取締役 専務執行役員	金子 茂浩	常勤監査役	今坂 正
取締役 常務執行役員	大木 芳幸	監査役	辻岡 明
取締役 常務執行役員	武 静雄	監査役	松村 俊夫
取締役 執行役員	今井 雅之		
取締役	山木 利満	執行役員	福原 賢浩
取締役	星野 晃司	執行役員	齋藤 謙司

### 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 配当の基準日 (1) 中間配当 毎年9月30日  
 (2) 期末配当 毎年3月31日  
 定時株主総会の基準日 毎年3月31日  
 定時株主総会 毎年6月  
 株主名簿管理人 〒100-8233  
 特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社  
 郵便物送付先 〒168-0063  
 電話お問い合わせ先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
 公告方法 電子公告といたします。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。  
 <電子公告掲載URL>  
<http://www.kanachu.co.jp/kanachu/ir/stock/notification.html>

## 神奈川中央交通株式会社

〒254-0811 神奈川県平塚市八重咲町6番18号  
 電話 0463-22-8800  
 ホームページアドレス <http://www.kanachu.co.jp/>

表紙写真 2019年3月にリニューアルした  
 「かなみん」ラッピングバス (横浜の風景)

## ● 株式の状況

### 株式の状況

(2019年3月31日現在)

発行可能株式総数 ..... 5,040万株  
 発行済株式総数 ..... 1,260万株  
 株主数 ..... 4,630名

### 大株主

(2019年3月31日現在)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
小田急電鉄株式会社	5,572	45.41
株式会社横浜銀行	612	4.99
横浜ゴム株式会社	240	1.96
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行退職給付信託口)	200	1.63
三井住友信託銀行株式会社	183	1.49
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	124	1.02
朝日生命保険相互会社	120	0.98
第一生命保険株式会社	120	0.98
明治安田生命保険相互会社	101	0.83
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	92	0.76

(注) 1. 当社は自己株式327千株を所有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
 2. 上記持株比率は自己株式を控除して計算しております。

IRサイトの  
ご案内 <http://www.kanachu.co.jp/>  
 神奈川中央交通 検索

1 当社ホームページのトップ画面より、右上の「企業に関する情報」をクリックしてください。

2 「投資家情報」をクリックしてください。

IRサイト



見やすいユニバーサルデザイン  
 フォントを採用しています。



環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを  
 使用して印刷しています。